

### 円借款は「海外経済協力業務実施方針」に基づき、 供与されています。

当行は、3年ごとに策定される「海外経済協力業務実施方針」(対象期間:2005年4月1日~2008年3月31日)に基づいて円借款業務を実施しています。実施方針は、円借款の基本的方向として「開発成果重視の取組み」、「中長期的な取組み」、「開かれた円借款への取組み」の三つの取組みを示し、重点分野として「貧困削減への支援」、「持続的成長に向けた基盤整備」、「地球規模問題・平和構築への支援」、「人材育成への支援」の4分野を掲げています。

中国:評価結果フィードバック・セミナー



### 5. 円借款はどのような方針に基づいて行われているのですか?

#### 基本的方向

##### 開発成果重視の取組み

開発成果を向上させるため、①国別の視点の強化、②政策・制度改善への取組み、③援助協調・連携の強化、④案件監理の充実、⑤評価の充実、に力を入れます。その際、限られた資源を効率的に活用しながら開発成果を向上させるように努めます。



評価結果の開発途上国へのフィードバック

##### 中長期的な取組み

開発は、相手国の経済・社会に貢献する取組みであるため、成果が実現するまでに時間を要します。相手国の開発ニーズに応じ、円借款事業のプロジェクトサイクルにおいて、中長期的視野に立った案件形成、案件監理を行っていきます。



長期の成果を見据えた植林事業

##### 開かれた円借款への取組み

円滑かつ適正な業務運営を行うためには、円借款業務の透明性を高めるとともに、説明責任を果たし、開かれた円借款を推進することが重要です。このため、情報公開、開発教育、評価の充実、広報や国民参加の促進等に取り組めます。



修学旅行でJBICを訪問する中学生

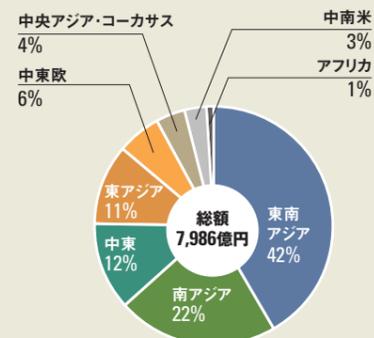
#### 配慮すべき事項

円借款業務での配慮事項の一つとして、評価の充実(開発成果重視)を図ります。評価の充実にあたり、業務の効果・効率向上や説明責任強化のため、一貫した評価を実施します。

#### 重点地域

円借款では、アジアを重点地域としており、地域別承諾額は同地域が約8割を占めています。特にインドネシア、スリランカへの支援では、2004年12月に発生したスマトラ島沖大地震およびインド洋津波被害の被災地等において、公共インフラ等の復旧・復興対策に積極的に取り組めます。

##### 地域別承諾状況(2004年度)



詳細は、「海外経済協力業務実施方針」(当行ホームページにも掲載)を参照ください。

### 6. 円借款では具体的にどのような効果がでているのですか?

重点分野 (2004年度評価対象案件)	貢献事例
<b>貧困削減への支援 (14件)</b>  ミレニアム開発目標の達成に向け、引き続き貧困削減への取組みを強化します。アジアでの経験が示すとおり、貧困削減のためには経済成長が不可欠であることから、貧困削減に資する持続的な経済成長への支援を継続します。また、経済成長の効果が貧困層に着実に届くよう、貧困層が多く居住している地域での事業実施等、貧困層が受益者となるよう努めます。	<b>フィリピン「農地改革への金融支援」(P.75)</b> 農地改革により土地の分配を受けた農民を多く含む農協に対し、財務管理や借入計画作成などの技術支援を行うとともに、フィリピン土地銀行経由で農協に資金を供与し、米販売などの事業や組合員への貸付を支援しました。対象農協のうち、約4分の3が土地銀行の融資を受けるに至り、組合の資本が充実し、農民の生計が向上しました。  <small>受益者と実施機関職員</small>
<b>持続的成長に向けた基盤整備 (32件)</b>  開発途上国のニーズが高い経済社会インフラを引き続き整備し、持続的成長に向けた支援を行います。支援の効果を向上させるため、わが国の優れた技術・人材・経験・知見も活用し、政策・制度の改善や運営・維持管理体制の改善に向けた支援を行います。	<b>インド「アンパラB火力発電所建設事業(1)~(5)」(P.62)</b> 深刻な電力供給不足が懸念されていたウッタラプラデシュ州において大規模な発電所の建設を支援し、電力供給の改善に寄与しました。発電所の施設稼働率は9割を超え、約3,900万人の消費電力に相当する電力供給を行っています。  <small>アンパラB火力発電所の全景</small>
<b>地球規模問題・平和構築への支援 (16件)</b>  地球環境問題に対しては、温室効果ガスの抑制・削減等の地球温暖化対策、自然環境の保全、大気汚染対策や水質汚濁対策等の環境改善・公害防止に取り組めます。防災支援では、緊急支援のほか、中長期的な復興・再開発や予防への支援も重視します。また、平和の構築、HIV/エイズ等の感染症対策、さらに世界遺産の保護と開発を両立させた支援等にも取り組めます。	<b>中国「環境改善への支援(大気・水)」(P.77)</b> 大気・水の環境関連16事業が、ガス供給施設や下水処理場等の整備を通じて、中国の環境改善および政策・制度改善に貢献しました。シミュレーションにより、環境政策改善の効果は、大気では二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> )換算で220万トン/年、水では化学的酸素要求量(COD)換算で3,800万トン/年に相当することが判明しました。  <small>評価結果の検討会の様子</small>
<b>人材育成への支援 (8件)</b>  従来から円借款により留学生、教育プログラム、校舎建設等を支援してきました。引き続き、初等教育から高等教育、職業訓練等の人材育成を支援します。また、円借款事業のプロジェクトサイクルのさまざまな段階において、調達、債権管理、評価といった面での技術移転や研修等を通じた人材育成に努めます。	<b>マレーシア「高等教育基金借款(HELP)」(P.41)</b> 日本の理工系学部に進学するための奨学金供与により、マレーシアにおける技術者の育成に貢献しました。279人が電気・電子工学、機械工学等で学位を取得し、うち201人が製造業、電気通信関連の民間企業(日系企業は162人)に勤務し、日本企業がマレーシアに新技術を導入する際の貴重な人材として活躍しています。  <small>日系企業で働く卒業生</small>